

須賀川市  
70年の  
あゆみ

昭和29年～令和6年  
1954\_2024

伝えたい。

私たちの宝物



須賀川市制施行70周年記念誌

皆さんの「力」が  
このまちを「笑顔」に



# 市民協働

本市は、まちづくりの主体である市民の皆さんと支えあひながら、まちづくりを進めてきました。  
すべての人にとって「住み続けたいまち」であるために、市民との協働によるまちづくりをこれからも続けていきます。



特集 ■ 「市民協働」皆さんの「力」がこのまちを「笑顔」に

特集 ■ 「市民協働」皆さんの「力」がこのまちを「笑顔」に

## 「協働」が形となった 市民交流センターtette

平成31(2019)年1月11日、市民交流センターがオープンしました。

設計の段階から、導入する機能や活用方法などについて、35回に及ぶ市民ワークショップを開催し、中学生から高齢者まで延べ約700人が参加。数多くの意見をできる限り反映させた市民交流センターは「市民との協働によるまちづくり」が一つの形となったものです。

また、市民の皆さんの経験や知識などを施設運営に生かす場として、管理運営協議会を設置したほか、ボランティア組織「tetteパートナーズクラブ」を設置。市民の皆さんに愛され、育てられる施設となっています。



### 市民との「協働」の歩み

平成26(2014)年度	7月～8月 「一緒につくる、考えるワークショップ」
	9月 パブリックコメントの実施
平成27(2015)年度	5月～12月 「一緒につくる、考えるワークショップ」
平成28(2016)年度	7月 第1回管理運営協議会、[一緒につくる、考えるワークショップ]
	10月 第2回管理運営協議会
	11月 「一緒につくる、考えるワークショップ」
	1月 第3回管理運営協議会
平成29(2017)年度	6月 第4回管理運営協議会
	7月 大学生等ワークショップ&現場見学会
	8月 第1回tetteパートナーズクラブ設立準備会
	10月 第2回tetteパートナーズクラブ設立準備会、第5回管理運営協議会
	11月 中・高校生ワークショップ&現場見学会、第3回tetteパートナーズクラブ設立準備会
	12月 第4回tetteパートナーズクラブ設立準備会
	2月 tette プレイベント
平成30(2018)年度	6月 第6回管理運営協議会
	11月 tetteパートナーズクラブ養成研修会
	1月 市民交流センターオープン



## まちづくり 輝き放つ 市民の力

市民の皆さんの力は、本市のまちづくりにおける様々な場面で発揮されています。伝統行事「松明あかし」の継承、牡丹園や円谷幸吉メモリアルマラソン大会でのボランティア活動による観光振興やスポーツの推進。福祉や子育て、防災などの課題解決のための活動など、個人・団体それぞれが特性を生かしながら活躍しています。



## 地域コミュニティから 生まれる活気・安心

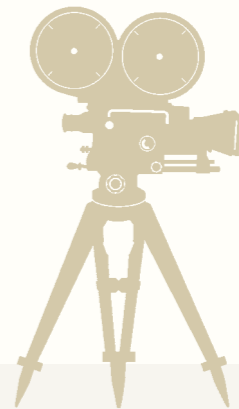
**活** 気あるまちづくりには、市民の皆さんによる地域コミュニティ活動が大切です。例えば、各町内会・行政区で開催する祭りやイベントなどは、人の結び付きを深め、活気あるまちづくりにつながっています。

また、参加する住民同士が協力して開催する「通いの場」の取り組みは、介護予防だけでなく、お互いの見守りにもつながり、生活に安心を与えています。

本市には昔から「結」と呼ばれる相互扶助の精神がありました。その精神は「協働の理念」として大切に受け継がれています。



# 「特撮」を 世界に誇るべき文化に



円谷英二監督の  
故郷として

失われつつある  
特撮資料

日本の特撮は、国内だけでなく、世界の映像文化にも大きな影響を与えてきましたが、CG技術の広まりとともに、活躍の場が失われつつあります。特撮には、現実には起こりえない情景を撮影するための柔軟な発想と技術が詰まっています。しかし、特撮で使用されたミニチュアをはじめとする資料は、撮影が終わるとそのほとんどが廃棄されてきました。

本市では、平成26(2014)年7月から関係者と連携して特撮関係資料の保存を開始しました。貴重な資料を収集、保存、修復、調査研究し、特撮を文化として残す活動は、円谷英二監督の故郷である本市だからこそ取り組むべき活動です。特撮文化を継承し、広めていく活動は、全国自治体の中で唯一の取り組みです。こうした活動を通して、市民の皆さんが本市に住み続けたいという誇りや愛着を育んでいきます。



© 東映 © 2022「シン・ウルトラマン」製作委員会 © 円谷プロ © TOHO CO., LTD.



© 円谷プロ



© TOHO CO., LTD.

## 須賀特撮アーカイブセンター



令和2(2020)年11月3日に開館。特撮に関連する貴重な資料などを、収集、保存、修復、調査研究し、特撮文化を推進するための拠点となる施設です。円谷英二監督が活躍した時代から現在までに、実際の撮影で使用された資料などを数多く保管しています。

ウルトラヒーローや怪獣がさらに身近な存在に

平成26(2014)年1月6日、ウルトラマンをデザインしたオリジナルナンバープレート1000の交付を開始しました。また、平成27(2015)年3月から松明通りに続々とモニュメントなどが登場。平成29(2017)年3月の新庁舎落成式では、ウルトラの父のモニュメントを披露しました。



特集 ■ 特撮のまちへ

2018

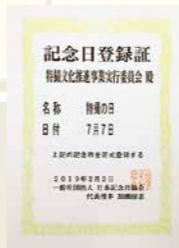
特撮文化推進事業実行委員会が設立

平成30(2018)年11月3日、特撮文化の推進のため、「特撮文化推進事業実行委員会」を設立しました。また、実行委員会設立にあわせて、特撮の魅力やアーカイブの重要性について語るシンポジウムが開催されました。



円谷英二ミュージアムが開館

平成31(2019)年1月11日、市民交流センター内に「円谷英二ミュージアム」が開館しました。また、特撮文化推進事業実行委員会では、円谷英二監督の誕生日である7月7日を「特撮の日」として一般社団法人日本記念日協会に申請し、登録されました。



© TOHO CO., LTD.



特撮への思いが形に

令和2(2020)年11月2日、アニメ・特撮資料の保存・アーカイブを目的とする団体「NPO法人アニメ特撮アーカイブ機構」と連携協定を締結しました。11月3日、須賀川特撮アーカイブセンターが開館し、特撮文化推進の新たなスタートとなりました。



特撮の魅力を発信

令和3(2021)年11月28日、特撮文化推進事業実行委員会による特撮ワークショップが開催されました。また、12月には円谷英二監督の生誕120年を記念した「生誕120年 円谷英二展」を開催し、多くの人に円谷英二監督の功績を伝えました。



撮影用クレーンに乗る円谷英二(1934) 国立映画アーカイブ所蔵

第2の円谷英二監督を育成

令和4(2022)年6月18日、子どもたちに夢を持つことのすばらしさを伝えるとともに、夢を与えるために挑戦し続けた円谷英二監督の精神を受け継ぐ人材の育成に取り組み「すかがわ特撮塾」が開講しました。講座では、特撮映像に携わるプロを講師として、中学・高校生が年間を通して撮影技術、ミニチュア制作、映像編集を学んでいます。



特撮のまちへ

「M78星雲 光の国」との姉妹都市提携から10年。「特撮の神様」円谷英二監督の故郷として、特撮の魅力伝えてきました。その歩みを振り返ります。



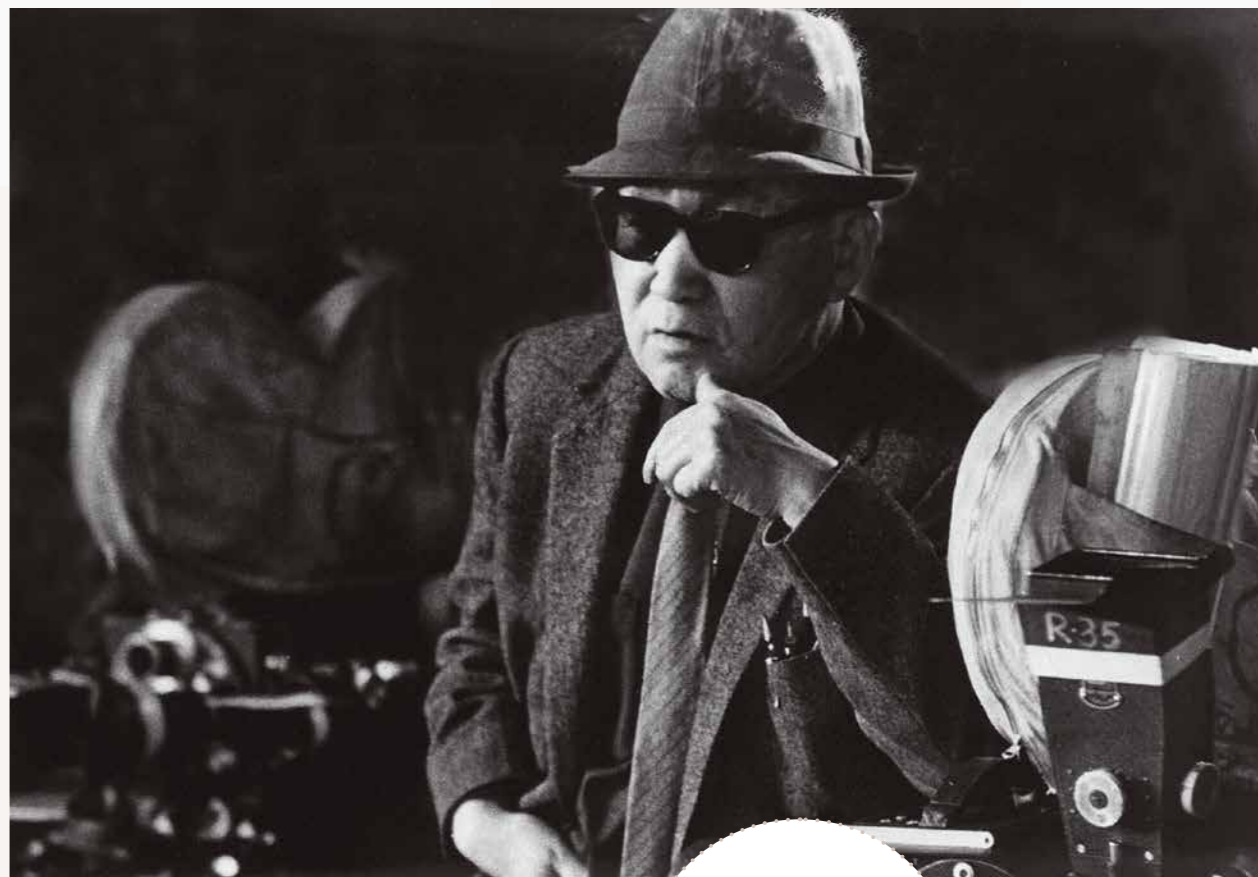
「M78星雲 光の国」と姉妹都市を提携

平成25(2013)年5月5日、ウルトラマンの故郷「M78星雲 光の国」と姉妹都市となりました。姉妹都市提携を契機に、ウルトラヒーローたちとともに本市の魅力を発信し、全国の皆さんとの交流が進みました。

空想の力を育むまちを目指して

令和5(2023)年4月12日、株式会社円谷プロダクションとの協力体制を更に発展させていくため「まちづくり提携協定」を締結しました。協定に基づき、7月に市内の小中学生向けに「空想の力」を育むプロジェクトを行いました。





## 円谷英二

Tsuburaya Eiji  
1901 ~ 1970

日本の特撮技術の礎を築き、「特撮の神様」とも称されている円谷英二監督。

若かりし頃より撮影技術の研究に勤しんだ英二監督は、東宝株式会社を中心とした数々の作品で特殊技術を手掛け、「ゴジラの逆襲」(昭和30(1955)年)では初めて「特技監督」と冠されました。

昭和38(1963)年には株式会社円谷特技プロダクションを設立し、その名声を不動のものとなりました。英二監督の残した思いや熱意は、今でも多くの人々に影響を与えています。



# 「二人の円谷」を称えて

### 功績を称えた「二人の円谷顕彰事業」

令和3(2021)年度

7月4日  
テレビ番組「二人の円谷を知る」福島・須賀川市めぐり」放送

7月7日  
須賀川市名誉市民章授与式



須賀川市名誉市民章授与式

7月4日～19日  
円谷幸吉写真展

10月17日  
円谷幸吉メモリアルホールでの展示内容を拡充

12月18日～1月30日  
生誕120年円谷英二展

令和4(2022)年度

4月28日～6月15日  
「ウルトラマン」への手紙

6月18日  
「すかがわ特撮塾」開講

7月10日  
「シン・ウルトラマン」上映会

9月20日  
円谷幸吉メモリアルホール紹介動画公開

10月3日～2月28日  
円谷幸吉メモリアルホール所蔵品データ化

11月20日  
ウルトラセブン上映会&トークショー

1月15日  
ウルトラマンアーカイブスプレミアムシアター

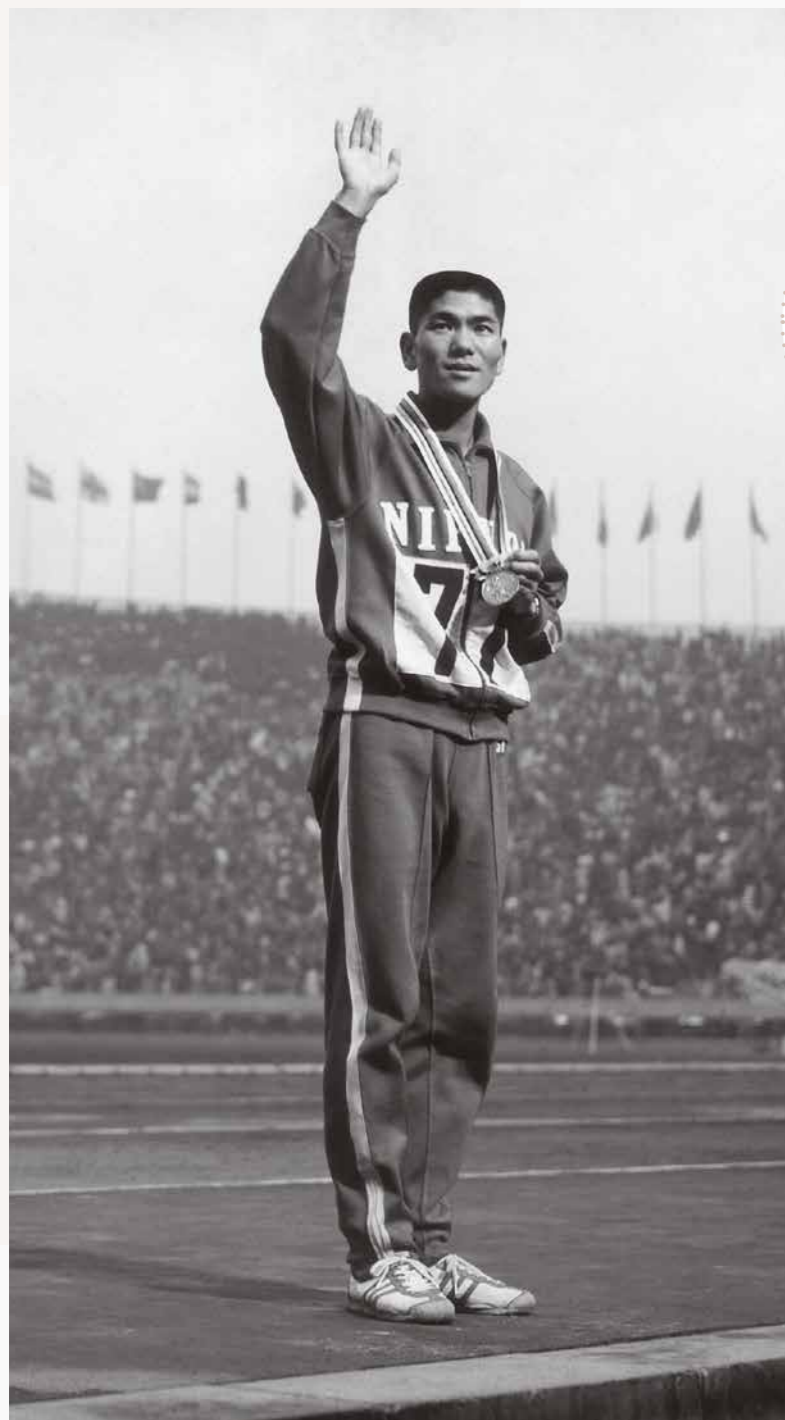
令和5(2023)年度

4月1日  
須賀川アリーナの名称を「円谷幸吉メモリアルアリーナ」に変更

4月12日  
株式会社円谷プロダクションと「まちづくり提携協定」を締結



「二人の円谷」を通して本市の魅力伝える須賀川事典



## 円谷幸吉

Tsuburaya Kokichi  
1940 ~ 1968

昭和39(1964)年に開催された東京オリンピックのマラソン競技で銅メダルを獲得し、当時低迷していた日本陸上競技界の救世主となった円谷幸吉選手。

毎年10月には幸吉選手の偉業をたたえる「円谷幸吉メモリアルマラソン大会」が開催され、全国各地から多くのランナーが参加します。

近年では、本市出身のランナーが国内を飛び越え世界の舞台でも活躍するなど、幸吉選手のレガシーが今もふるさとの人々に受け継がれています。





須賀川市  
70年の  
あゆみ

通史 2014 (平成 26) 年～ 2023 (令和 5) 年

昭和 29 年 3 月に誕生し、市制施行から 70 周年を迎える須賀川市  
 創造的復興を目指した直近 10 年の歩みを中心に振り返る  
 選ばれるまち、そして、住み続けたいまちへ—



昭和 29 年～令和 6 年  
**1954\_2024**  
 須賀川市制施行 70 周年記念誌

伝えたい。私たちの宝物

contents

特集

「市民協働」…………… 2  
 — 皆さんの「力」がこのまちを「笑顔」に —

「特撮」を世界に誇るべき文化に …… 6

「二人の円谷」を称えて …… 10

本編

通史 2014 (平成 26) 年～ 2023 (令和 5) 年 …… 13

本市を襲った自然災害の脅威 …… 34

創造的復興そして次の 10 年へ …… 36

須賀川市大年表 …… 38

歴代須賀川市長／歴代須賀川市議会正副議長 …… 46

発刊のことば …… 47